

お知らせ



国土を **整え**、全力で **備える**
国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

情報提供先 : 島根県政記者会
米子市政記者クラブ

水質事故に万全の体制で備えます

～斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会（水質事故部会） 及び水質事故対策訓練の開催～

【水質事故訓練実施状況(飯梨川)】 ※飯梨川(富田橋上流)では、平成26年にも水質事故対策訓練を実施しています。



＜国土交通省班によるオイルフェンス展張＞



＜安来市班によるオイルフェンス展張＞



＜救命索発射銃によるオイルフェンス展張＞

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、鳥取・島根両県、流域市町や関係機関で組織し、斐伊川水系の水質保全の取り組みや水質事故の抑止・処理対策などの活動を行っています。

これから冬場を迎え暖房用燃料の取扱いや車両のスリップ事故なども増え、水質事故につながるものが心配されるところです。

協議会では、水質事故への対応を担当する「水質事故部会」を設けていますが、このたび同部会を広瀬土木事業所で開催し、関係機関相互の連絡調整や広報などについて協議するとともに、会議後、安来市広瀬町を流れる飯梨川を会場に、油の流出を想定したオイルフェンス等の展張訓練などを実施します。

◎開催日時・場所

令和元年11月8日(金) 13:30～16:00

安来市広瀬町石原357-1

松江県土整備事務所 広瀬土木事業所(会議室)

- 水質事故部会 (13:30～14:30) (会議室)
- 水質事故対策訓練 (14:45～16:00) (駐車場)
安来市広瀬町富田地先 飯梨川(富田橋上流の東側)
(概要については、別添「実施要領」をご覧ください。)

出雲河川事務所Webサイト <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

問い合わせ先



国土交通省

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
(事務局：国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 管理第一課)

管理第一課長 かわが 昭
河村 昭

電話：0853-21-1850【代表】

電話：0853-20-1765【直通：管理第一課】

令和元年度 水質事故対策訓練 実施要領

1. 目的 河川等の公共用水域で水質事故が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるためには関係機関が密接な連携のもと迅速かつ的確な対策を行わなければならない。

そのためには、日頃から関係機関相互の緊密な情報伝達体制を構築しておくとともに、水質事故処理に関する知識や実践的現場対応能力を身につけておく必要がある。

国土交通省、県、市町及び関係機関で構成する「斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会水質事故部会」は、今後の水質事故対応に万全を期すため水質事故対策技術の習得・錬磨を図ることを目的に水質事故対策訓練を実施するものである。
2. 主催 斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
3. 日時 令和元年11月8日(金) 13:30～16:00
4. 場所 安来市広瀬町富田地先 富田橋右岸上流の飯梨川河川敷
5. 参加機関

国土交通省	出雲河川事務所 海上保安庁 境海上保安部
鳥取県	消防防災課、水環境保全課、河川課 西部総合事務所 米子県土整備局、生活環境局 鳥取県警 生活環境課、米子警察署、境港警察署
島根県	防災危機管理課、環境政策課、河川課、下水道推進課 宍道湖流域下水道管理事務所、 松江、雲南、出雲各県土整備事務所及び各土木事業所 松江、雲南、出雲各保健所 島根県警 生活環境課、松江、安来、雲南、出雲各警察署
市町	米子市、境港市 松江市、出雲市、安来市、雲南市、大田市 奥出雲町、飯南町
消防	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 松江市、安来市、出雲市、雲南各消防本部
その他	島根県企業局 東部事務所 斐川宍道水道企業団 西日本高速道路(株)中国支社 松江高速道路事務所

6. 訓練内容 ① ロープワーク（参加者全員対象）

- ・安来市消防本部の実技講習

事故現場で使用する主なロープワークとその特徴、用途の習得。

② 飯梨川への油流出を想定したオイルフェンス等の実地展張訓練

- ・班編制

第1班（国土交通省 出雲河川事務所）

第2班（安来市消防本部）

第3班（島根県 松江県土整備事務所 広瀬土木事業所）

第4班（安来市）

- ・渡河方法及び使用資材

第1班 〈投げ竿〉 + 〈万国旗型吸着マット〉

第2班 〈救命索発射銃〉 + 〈吹き流し状吸着マット〉

第3班 〈投げ竿〉 + 〈チューブ型吸着フェンス〉

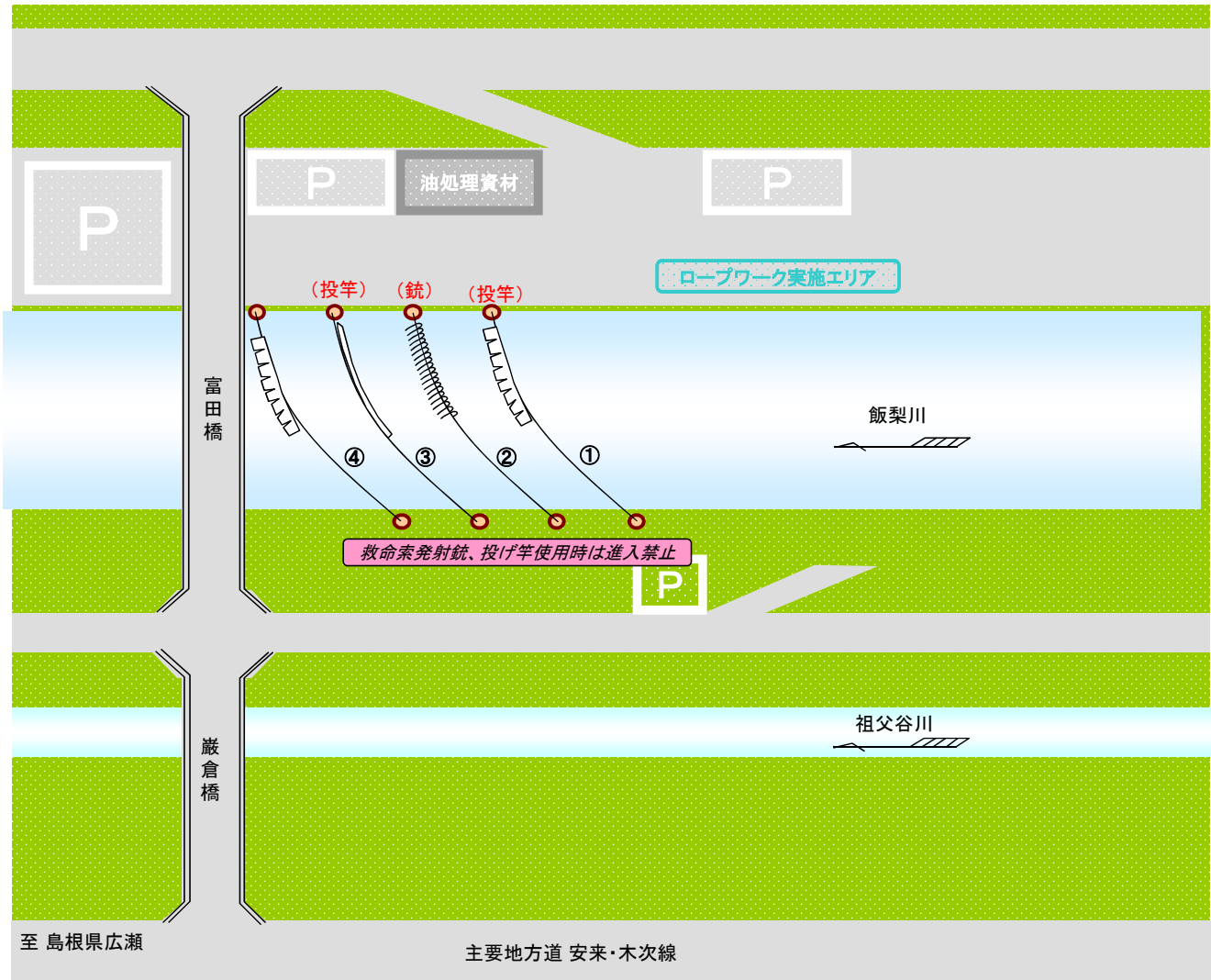
第4班 〈橋梁渡河〉 + 〈万国旗型吸着マット〉

③ メーカー代理店による事故処理資材の展示及び実施時の注意点等

7. 訓練日程	14:45	開会
		・開会のあいさつ 広瀬土木事業所 管理課長
		・訓練概要の説明
	14:50～15:05	ロープワーク
	15:05～15:45	実地展張訓練と解説
	15:45～16:00	事故処理資材の学習
	16:00	閉会

8. 会場の配置 別紙「会場配置図」のとおり

会場配置図



訓練概要

訓練は、飯梨川右岸側を流出する油膜の回収を目的とし、上流の班から下流の班に向け対策を実施する。

班名	実施機関	訓練内容	展張要領	使用資機材
① 第1班	国交省	万国旗型吸着マット	① 投げ竿を利用し、リードロープを対岸に渡す ② リードロープを利用し、「フェンス型吸着マット」を展開する ③ 両端を木杭に固定し、設置完了	・万国旗型吸着マット (タフネルBL-F型) ・投げ竿 1式 ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式
② 第2班	安来消防	吹き流し状吸着マット	① 救命索発射銃を利用し、リードロープを対岸に渡す ② リードロープを利用し、「吹き流し状吸着マット」を展開する ③ 両端を木杭に固定し、設置完了	・吹き流し状オイルプロッター (タフネルオイルプロッターF1型) ・救命索発射銃 1式 ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式
③ 第3班	島根県	チューブ型吸着フェンス	① 投げ竿を利用し、リードロープを対岸に渡す ② リードロープを利用し、「チューブ型吸着フェンス」を展開する ③ 両端を木杭に固定し、設置完了	・チューブ型吸着フェンス (スマレイオイルフェンス7510) ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式 ・投げ竿 1式
④ 第4班	安来市	万国旗型吸着マット	① 富田橋を利用し、リードロープを対岸に渡す ② リードロープを利用し、「万国旗型吸着マット」を展開する ③ 両端を木杭に固定し、設置完了	・万国旗型吸着マット (タフネルFB60) ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式

会場案内図

広瀬土木事業所
(水質事故部会)

足立美術館

訓練会場
(右岸側)

